



おきなわ

私保連だより No.157

2025年(令和7年)10月31日



沖私保連
HP



発行所：一般社団法人 沖縄県私立保育園連盟
〒903-0804 那覇市首里石嶺町 4-373-1 Tel.098-887-1270

発行人：上原 東 編集：広報部



「滝行中?!」(たんぼぼ保育園)

も く じ

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| ● 国へ向けた請願活動(予対部報告)..... 2・3P | ● おすすめ本 8P |
| ● こどものつぶやき..... 2・3P | ● 沖私保連の動き 9P |
| ● 第37回私保連保育研究大会 4・5P | ● 季節の写真(秋の風景) 9P |
| ● キリスト教短期大学との連絡会 6P | ● 編集後記・広告 10～12P |
| ● 八重瀬町公開保育について 7P | |

令和7年度（公社）全国私立保育連盟 「国へ向けた署名・カンパ活動」について



予算対策部長 本田 慧

会員の皆様には、平素より当連盟の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、毎年度の「国への署名・カンパ運動」への多大なるご尽力に、心より感謝申し上げます。

今、子ども・子育ての最前線である保育現場は、大きな課題に直面しています。予測を超える速度で進行する少子化を前に、保育士の確保や、より手厚い保育を実現するための職員配置基準の改善、各種補助制度の充実、調理員をはじめとする職員の体制整備など、保育の質を左右する重要な課題が山積しています。

このような状況だからこそ、今、私たちの声を国に届けることが重要です。

現在、こども家庭庁のもと「こどもまんなか社会」の実現に向けた政策が強力に推進されており、令和7年度には1歳児の配置基準見直しが予定されるなど、保育制度は大きな変化の時を迎えています。さらに、保育士を含む職員の処遇改善に繋がる大幅な人事院勧告も示され、私たちの要望を実現するための追い風が吹いています。

この好機を逃さず、現場が抱える課題を確実に解決へと導くためには、皆様一人ひとりの声を集めた「署名」という形にして、国の政策決定の場へ届けることが最も有効な手段です。皆様にご協力いただいているこの運動は、これまでも国の制度や予算編成に大きな影響を与え、より良い保育の実現に貢献してきました。

つきましては、日本の保育の未来のため、令和7年度も引き続き「国への署名・カンパ運動」に、職員、そして保護者の皆様の無理のない範囲でのご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



予対部活動の様子

子どものつぶやき



- 3歳児エイサー練習の後に、「なんでエイサーするのかなあ」「ご先祖様をお迎えるため」とよくわかっていて感心した。



- 4歳児 おやつ時間のひとこま
牛乳パックをうまく畳めず困っていたYさん。向かいに座っていたHさんが一言「真ん中を押してたっぴらかす!」何度も繰り返し一生懸命教える姿がとても可愛い。
※たっぴらかす・・・沖縄の方言で「潰す」という意味



- 【5歳児】お泊り会前日
Mちゃんに「お母さんと離れて眠れるかな?少し寂しいんじゃない?」と聞いてみると、「大丈夫。だって、お母さんの夢を見ればいいから」と、嬉しそうに答えてくれました。



- 【0歳児の可愛い姿I】
出勤すると、床にちょこんと座っているN君を発見あまりの可愛さに、思わず満面の笑みで「N、おはよ～」と声をかけると、N君は少し間をおいて、真顔のままスッと右手をあげてくれました。そのタイミングと仕草が絶妙すぎて、大笑い!朝から元気をもらいました。



令和8年度に向けた最重点要望項目 (主に少子化対策に向けた具体的提案)

一、こども未来戦略の着実な実施とこどもまんなか社会の実現に必要な安定的財源の確保

○乳幼児教育・保育・子育て支援の質・量の充実のための財源と、こどもまんなか社会の実現に必要な安定的財源について、子ども、子育て支援金以外の部分も速やかに確保を進めてください。

一、保育士等の人材確保推進および処遇の改善

○養護と教育を一体的に行っている保育士を高度な専門職として位置づけるとともに、全産業の労働者との賃金格差がなくなり、安定して長く働くことができるよう、早期に全ての保育関係職員において処遇改善がなされることを求めます。

○子どもの命と安全を守る保育の重要性を広くアピールするとともに、職業としての保育士等の魅力をさらに発信していくことが必要です。

一、定員未充足の度合いに応じた公定価格の調整

○今後さらに子どもの数が減少していく情勢に鑑み、利用定員を充足していない保育施設において、その機能を維持できるよう、未充足の度合いに応じた率による乗除調整や、柔軟な定員変更など、既存の仕組みを拡充・整備してください。

一、山間部や島しょ部などの地域における保育人材確保の促進

○離島など生活が著しく不便な地域においては、保育人材確保を促進するため人事院規則の「特地勤務手当」の基準を参考とした加算の仕組みを創設してください。

一、地域の特性によるきめ細かな経費補助と支援体制の整備

○光熱費や食材料費の高騰への対応、離島における輸送費・交通費や、豪雪地帯における除雪費など、地域の特性によって生じる経費について、実態に応じた補助となるよう、またきめ細かな支援が可能となるよう体制を整備してください。

子どものつぶやき



○0歳児クラスの可愛らしい姿Ⅱ

M君の鼻水が出ていたので、「鼻拭いてい〜い?」と声をかけると、隣にいたN君が、自分も拭いてほしいと言わんばかりに「ふーん!ふーん!」と鼻息を出してきました。(ちなみに、どんなに鼻息を出しても鼻水は出てきませんでしたが、そっと拭いてあげると、嬉しそうに遊びに行きました)



○じゃれあって遊んでいるうちに激しいけんかになったふたり

保：どうしたの?

A：だってHがもたれかかってくるから

H：だってくつつきたかったのに〜

保：そうだったんだって

A：(ちょっと落ち着きを取り戻し) いやだ〜、だって人間の頭って臭いから・・・。するとHくんはバタツと泣き止み立ち上がってなぜかAくんの頭をクンクン。

H：くさくないさ〜

A：シャンプーしたから(そのやりとりが面白くて笑った保育士に)

A：なんで笑うの?

保：うん、人間の頭って臭いっていうから

A：だって、ずかんに書いてあったから・・・

保：え〜図鑑に?!



○お迎え待ちながら4、5才の兄妹になぞなぞを出した時の話

先生：『パタパタさせて使うよ。涼しくなるものなーんだ』妹：「ちくわ!」兄：「うきわ!」「うちわ」って言いたい事が伝わってきて、その答えの可愛さに爆笑してしまいました。

第37回（一社）沖縄県私立保育園連盟 保育研究大会

第37回沖縄県私立保育園連盟保育研究大会が、2025年9月13日（土）にリザンシーパークホテル谷茶ベイにて行われました。会場には443名を超える多くの参加者が大会テーマ『子どもたちの育ちと保育園の役割』について基調講演、分科会を通して学び、語り合いました。

開会のあいさつでは上原東会長からは今日の学びを明日の保育に生かしてくださいとの激励のお言葉がありました。



上原 東 会長

☆基調講演テーマ「子ども主体の育ちを支える大人の役割：安心と挑戦の循環 —「はじめての100か月の育ちのビジョン」—

講師：大豆生田 啓友 先生（玉川大学 教育学部 教授）

日本には『ぐりとぐら』があって本当に良かった



大豆生田 啓友 先生

幼児期にぐりとぐらを読んでもらった割合は9割にもなる。どれも「幸せな記憶」であった。幼児期の体験は「生きている記憶」として残り、大人になってからの安心感や自己肯定感につながる。その子どもの幸せは、大人が「どう見たか」「どう関わったか」によって形づくられる。初めの100か月は、将来においてもウェルビーイングの面での幸せにつながる大事な時期。この時期に、子どもの「自分っていいな」「世界って面白いな」という感覚を育むことが生涯にわたるウェルビーイングの向上につながっていく。

安心と挑戦の循環：アタッチメント・遊び・体験

安心できる関係性（アタッチメント）があるからこそ、子どもは挑戦できる。遊びは、子どもにとっての挑戦・表現・探究の場であり、大人の「ワクワク」が子どもの「ワクワク」と共鳴すると、遊びが深まり、関係性が豊かになる。

主体性とは「好き勝手」ではない共主体のまなざし

子どもの主体性とは「好き勝手させる」ことで育つものではない。例えば「ピーマン食べたくない」という子どもに対して、保育者は「食べて欲しい」と願いながらも、子どもの思いを尊重し、願いを伝える。そのやりとりの中で、子どもは「食べる／食べない」を自分で選択していく。ここには、子どもと大人の共主体的な関係性がある。

遊び込む体験の保障と、クラスに広がる共鳴

個性いっぱいの2歳児が、安心感と信頼感の中で主体的に遊び込む事例を紹介。一人の遊び込む姿がクラスに「ブーム」を巻き起こす。保育者は、遊びの意味を読み取り、体験を保障する専門性を持つものである。

保育は、子どもが「自分らしく生きる力」を育む場であり、同時に、大人が「子どもと共に育ち合う」場でもある。

子どもは有能な学び手：ウェルビーイングとエージェンシー

子どもは、目の前の世界に働きかけながら、自らの意思で選び、動き、関係を築いていく。

これは「行為主体」としての姿であり、「自分が起こしたこと」という感覚を伴う。「あなたはほしい？」という問いかけは、子どもに選択と責任の感覚を育む。子どもは権利の主体者であり、保育の場はその権利を保障する空間である。

始めの100か月は、子どもが「自分が社会をつくる一員である」と実感していくかけがえのない時期であることを実感しながら、「保育者も共主体的な存在として、日々の保育の土台を築いていく」という大豆生田先生のお言葉は、参加者の胸に深く響いた基調講演となったのではないだろうか。（広報部報告）



☆第1 分科会

≪助言者 羽地知香氏（沖縄女子短期大学 講師）≫

発表 西原白百合保育園（中部南）「私たちが考える丁寧な保育とは？」

さくら保育園（那覇）「子どもの『やりたい』を尊重し、『意欲』を育む」

～園生活を通して一人ひとりを大切にする保育を目指して～



分科会の様子



さくら保育園



西原白百合保育園



助言者 羽地 知香 先生

☆第2 分科会

≪助言者 糸洲理子氏（沖縄キリスト教短期大学 准教授）≫

発表 さざなみっこ保育園（中部北）

「子どもと共に学び歩む保育を目指して ～散歩から見えてきたもの～」

銀のすず保育園（北部）

「体験を通して学ぶ SDG s～未来を担う子どもたちと共に～」



分科会の様子



さざなみっこ保育園



銀のすず保育園



助言者 糸洲 理子 先生

☆第3 分科会

≪助言者 塚原健太氏（琉球大学 准教授）≫

発表 あゆみ保育園（南部）

「生きる力を育む保育とは～たどりついた愛着～」

みやら子宝保育園（先島 石垣）

「自然と大人が育む子どもの力～記録とともに広がる活動・深まる学び～」



分科会の様子



あゆみ保育園



みやら子宝保育園



助言者 塚原 健太 先生

沖縄キリスト教短期大学との 「令和7年度保育者養成等に関する」連絡会

2025年8月21日(木) 沖縄キリスト教短期大学と沖私保連との「令和7年度保育者養成等に関する連絡会」を行いました。

今年も沖縄キリスト教短期大学での開催となり、私保連からは上原東会長をはじめ、副会長2名、総務部長1名、広報部長1名、沖縄キリスト教短期大学からは地域こども保育学科長大城りえ教授をはじめ、糸洲理子准教授、佐久本邦華准教授が参加されました。

連絡会の主な内容として・・・①保育実習Ⅰ・Ⅱ（保育所）について ②就職状況について ③その他となっており、キリ短側からのお話として

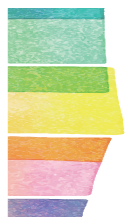
① 保育実習について

- ・無事保育実習Ⅰ（6/2～6/13 今年度より10日間）が終了しました。
- ・保育実習Ⅱ 11/4～11/17の10日間の日程で行われる予定であり、保育実習Ⅱ（保育所）の指導についてをお願いを各園に情報共有してほしい。学生の負担軽減及び睡眠時間確保の為に、実習中のお昼の休憩時間に、実習記録・指導案・日誌等の記録を書く時間を確保してほしいとの要望があった。体調不良等で欠勤の場合は大学側へも連絡をするよう学生に促してほしい。また、すべての年齢の発達を学べるよう実習受入クラスの配慮をお願いしたい。
- ・その他実習受入においての注意点等について、zoomで実習の事前説明を行っている。積極的に参加してほしい。
- ・実習生と職員の情報共有の為に反省会の開催をお願いしたい。また、見れる範囲で良いので保護者とのやり取りをする連絡帳等を見せてほしい。
- ・行事やサークル活動、ボランティア、インターンシップ等で保育施設との関わりを増やしたい。今回の私保連まつりで学生サークルのメンバーが参加する事になっている。このような取組みを今後も行っていきたい。また地域、学生と子どもが関わる取組みを積極的に行うので、各園の協力をお願いしたい。

② 就職状況について

卒業生数 2024年度 59名。卒業生の内、県内 51名、県外 3名。その内医療、福祉（保育園等）32名、教育、学習支援業（幼稚園・認定こども園）18名とほとんどが保育・教育関係に就職している状況となっている。しかし、来年度より沖縄キリスト教短期大学地域こども学科は70名に定員減を予定しているが、地域こども学科に名称を変え、質の高い保育・教育を学ばせる環境を整え、保育の現場で活躍できる学生を丁寧に育てていきたい。また、今年度からは、保育人材不足解消・保育士の魅力を発信する為に、各自自治体を巻き込んで養成校・小・中・高と保育園が交流できるような取組みを企画したい。その際にはぜひ各地域の保育園等に協力をしてほしい。また学生が保育の現状を把握する為に、沖縄県私保連の保育研究大会を学生が参加できるよう、各ブロックをお願いしたい等、色々な意見があった。

今回も対面会議という形で、限られた時間の中ではありますが活発に意見を交換する事ができ、養成校、私保連共に連携を図りながら学生の皆さんを保育士として大切に育てていこうという思いを共有し、連絡会を終えました。



心が動く保育の環境構成

～子どもの視点と子どもの世界をつなぐ環境構成の工夫～

八重瀬町 公私連携幼保連携認定こども園 あらしこども園 長嶺 久美子



八重瀬町では、4つのこども園が毎年各園の研究テーマのもと、公開保育と協議会を行っている。8月27日水曜日は、あらしこども園で公開保育を行った。

今年は、子どもの視点に寄り添い、子どもが見ているもの、感じていることを出発点として、その想像や物語をつなぎ、子ども同士の関係を広げていくことに焦点を当てた。

公開保育当日は、新城小学校教員5人と校長、近隣の保育園職員8人、八重瀬町内こども園職員8人と園長、養成校職員、関係機関の方々が参加し子どもたちの保育の様子を参観された。

ドラゴン君の物語

3歳児は、海の生き物や船に乗ることがブームで、4歳児は、恐竜の世界や、ピアノを弾いて椅子取りゲームをする遊びの流れがあり、5歳児は、昨日捕まえたスッポンの飼育方法について、盛り上がっていた。それぞれの興味関心を広げつつ、室内、園庭、小学校の運動場といろいろな世界を楽しんでいた。



そんな中、4歳児のAは、ケツアルコアトルスという新たな恐竜の仲間を段ボールで作り、どうやって飛ばすのか思案していたところに、Bから「凧みたいにしたら飛ぶよ」と提案され、早速長い紐を付けて、運動場で飛ばしてみたがうまくいかない。一方で、飛ばすアイデアを提案したBは、ビニールで凧を作り、Aの横で軽々と飛ばしているが、Aの長い紐を誤って踏みつけてしまった。Bは必至でAに謝っているのだが、「許さない」と言われ涙目になって困り果てていた。

Aは、気を取り直して、ガムテープを張り直し、ドラゴン君と命名し、再び運動場へ出て行った。そこには、3歳児が船に乗り、海の生き物たちのためのバーベキューを始めようとしている世界に出会った。Aは、ドラゴン君とその世界へ入り込み、ドラゴン君のためのはちみつを探したり、バーベキューの食材の野菜までも食べさせていた。2つの遊びの世界が重なり合い、Aは、自分の世界に描いていたことを遊びの中で実現し、2つの遊びが響きあった瞬間でもあった。現実世界と想像世界とを広げながら、Aは、ドラゴン君と最高の喜びを味わったのだろう。それがAの生きる力になることを、参加者皆で確認することが出来た。

子どもの心と保育者の心

子どもの心の動きは瞬時に始まり、瞬時に流れていく。子どもの心の動きを捉える保育者の力がなくては、環境構成の援助・技術、全ての日常の保育の質は保障し得ない。子どもの心の動きを捉える保育者の背景には、保育者自身の心も揺さぶられていることにある。子どもの気づきや発見への保育者の敏感性、子どもが持ち備えている能力への保育者の尊敬の念が、子ども自身の世界を尊重する保育の実現につながることを仲本美央氏（白梅大学）より講評をいただいた。また、参加者からの声は付箋にして玄関に掲示したことで、保護者もそれに目を止めている。そして、新城小学校の職員とも子どもの具体的な場面や、子どもの興味関心に沿った環境構成や学びのつながりについて語り合い、学び合えた。





「きゅうきゅうばこの絵本」 WILLこども知育研究所/編・著 川原瑞丸/絵 坂本昌彦/監修 出版社:金の星社 1,870円(税込)

一家に一冊!★親子で一緒に★あると安心あなたのその手当て、正しいですか? 小さな子どもによく起きるケガ・急病・事故の応急手当てと予防のポイントをやさしく解説

走ってころんですりむいた!カッターで指を切った!子どもによく起こりがちなケガや症状と対処法をイラストでわかりやすく解説。「おうちの方へ」ではケガしないための予防策、最新の応急手当について掲載しています。(金の星社 HP より)



「乳幼児の性と性教育」

あおぞら谷津保育園/著 浅井春夫/監修 出版社:教育図書出版会 1,760円(税込)

包括的性教育は0歳児から実施できます。おむつを変える時の声かけ、沐浴の仕方、自分のからだに興味をもたせる遊びなど、保育士たちの勉強と実践の積み重ねから、年齢別に乳幼児の性教育の大切さがわかる貴重な手引きです。(教育図書出版会 HP より)



「青空への小路」

仲原りつ子/著 出版社:一草書房 2,200円(税込)

空を見上げるのが大好きだった少女が24歳で保育園を開設!泣いたり、笑ったり、落ち込んだりたくさんの方々を支えられて歩んできた『青空への小路』(AmazonHPより)



「わくわくドキドキの環境から広がる遊びの世界」

仲本美央/著 出版社:風鳴舎 2,420円(税込)

好評「これからの保育シリーズ」第18弾。環境から広がる子どもたちの遊びの可能性について探求する著。

保育における新たな視点を提供します。科学絵本からインスピレーションを得た子どもたちが、自ら生き生きと展開する制作活動や豊かな保育実践がいっぱい! ICT活用についても理解できる内容です。(風鳴舎 HP より)



「じょうぶな頭とかしこい体になるために」

五味太郎/著 出版社:ブロンズ新社 1,540円(税込)

五味太郎が、子どもたちの疑問、悩みなど50の質問に答えた、生きるためのアドバイスブック。自分で考え、自分で悩み、自分をはげまし、そして自分に自信をもって生きていく.....そんな「じょうぶな頭とかしこい体」をつくるためのヒントが書かれたロングセラー。(ブロンズ新社 HP より)



「二番目の悪者」

林 木林/著 庄野ナホコ/絵 出版社:小さい書房 1,540円(税込)

金色のたてがみを持つ金ライオンは、一国の王になりたかった。自分こそが王にふさわしいと思っていた。ところが、街はずれに住む優しい銀のライオンが「次の王様候補」と噂に聞く。ある日、金のライオンはとんでもないことを始めた――。

登場するのは動物ばかり。人間はひとりも出てきません。けれど1ページ目はこの言葉から始まります。「これが全て作り話だと言い切れるだろうか」(小さい書房 HP より)



沖私保連の動き

2025年

8月

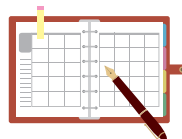
- 6日(水) 福祉まつり
- 7日(木) 三役会
- 12日(火) 第6回理事会
- 13日(水) 第2回予対社協(会長)
- 18日(月) 予対・署名カンパ発送作業
- 19日(火) 青年会議企画研修
- 21日(木) 全私保連調査部長会議(京都)(~22日迄)
キリ短連絡会
- 22日(金) 広報部会
県子どもまんなかアクション
- 26日(火) 保育協議会②

10月

- 8日(水) 予対園長研修(てだこ市民交流室)
- 9日(木) 全私保連北九州発表者打ち合わせ
- 10日(金) 三役会
- 14日(火) 第8回理事会
- 15日(水) 第2回予対会議・国会要請活動(~16日迄)
- 16日(木) 人材養成支援事業(保協)
- 23日(木) 全私保連第44回青年会議全国大会
- 24日(金) (鹿児島・奄美大会)(23日~24日迄)
- 28日(火) 九州保育三団体代表者会議
- 29日(水) 県福祉大会
- 31日(金) 広報部会(私保連だより157号発行)

9月

- 3日(水) 三役会
- 9日(火) 第7回理事会・保育研究大会運営委員会
- 13日(土) 第37回保育研究大会
- 18日(木) 赤い羽根共同募金感謝の集い
- 26日(金) 広報部会
- 29日(月) 署名カンパ集計作業・総務部会



原稿募集中!!

広報部では私保連だよりに掲載する原稿を随時募集しています。

○保育士の声 ○コロナ禍の中で ○我が園の逸品 ○子どものつづき ○保育にまつわる俳句・川柳

○季節毎の子ども達の素敵な写真 ○おすすめ本・絵本 など

私保連事務局へメールでお送りください。【hoiku@okishihoren.jp】多くの保育園からの寄稿お待ちしております！





編集後記



○当園の園庭の片隅にたたずむ一本のリウゼツラン。普段は大きな葉を広げているだけで、あまり目立たない存在ですが、今年、そのリウゼツランがついに花を咲かせようとしています。「一生に一度しか花を咲かせない」リウゼツラン。長い時間をかけて力を蓄え、ようやく一度だけ咲かせるリウゼツランの花。その姿は、これから少しずつ大きくなり、自分らしい花を咲かせていく子どもたちの未来と重なります。子どもたちの未来が幸多く輝けるものとなるよう、私達も頑張らなくちゃと園庭を眺めながら心新にしているところです。今号の内容も盛りだくさん。ぜひご感想をお寄せください。(理子)

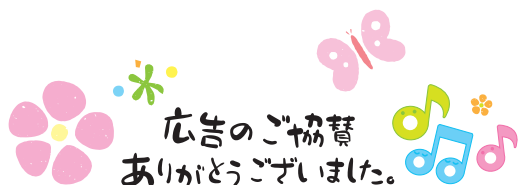
○最新の園の出来事や、子どもの権利、親の園選択について考えさせられました。その権利が対立したら……。大きな課題に向き合うために部長の作ってくれたおいしいチョコケーキを食べています (K・N)

○今年も厳しい暑さでしたが、水遊びを楽しむ「季節の写真」に心がほっこりしました。(秋の涼さが待ち遠しい人)

○今日も美味しいスイーツをいただきながら校正作業や園の話から色々な情報をもらえて学びの時間になりました。(あんちゃん)

○色んな情報を知り、実りある時間になりました。50年に一度咲くリウゼツラン見てみたいです。(C・T)

○広報部会の校正作業は他市町村の先生方と色々なお話しや情報交換ができる楽しい時間です。美味しいスイーツとコーヒーもいつもありがとうございます。(A・H)



シルバー派遣の保育補助を活用しませんか？



お問い合わせは
☎ (098) 871-0330
(公社) 沖縄県シルバー人材センター連合

劇団飛行船

12月に長靴をはいた猫
沖縄公演決定

※詳細は、「劇団飛行船」を検索してください。

<http://www.hikosen.co.jp>

〒564-0004 大阪府吹田市原町 4-8-3 Tel. 06-6364-3769

グリストラップの お悩みはありませんか？

ニオイ

手間

コスト

環境

害虫

無料のお試し清掃を募集しております。



合同会社 沖縄科学教材社
FAX 098-927-6433
Email: ys.ehon1@gmail.com

AIG

AIG損保

園児総合
保障制度

キッズガード

(商品名：こども総合保険)

健やかなお子様の成長のために…

☆その他、施設長・職員の皆さまへの
福利厚生の保険も扱っています。

お問い合わせは下記連絡先までどうぞ。

引受保険会社

AIG損害保険株式会社

沖縄支店：〒900-0006 那覇市おもろまち 1-1-12
那覇新都心センタービル 6F
TEL：098-862-2174 FAX：098-866-7840

petaluna
okinawa aroma

アロマ香水作り 出張ワークショップ

仲間と楽しく香りを選びながらつなかりを深め
自分を癒すワークショップ研修です

- 使用するアロマは上質な植物100%精油
- 必要な材料費込み、手ぶらでOK



【メニュー例】

- ・アロママスト100ml 1,650円/本
- ・アロマ香水15ml 3,300円/本

所要時間：1時間程度（※相談OK）

講師料：無料（通常6千円のところ保育園限定）

お問合せ ☎098-943-6550

平日：10時～16時（担当：和泉）

保育園厨房機器・厨房用品全般
食器洗浄機・食器消毒保管庫等

(株)盛厨房設備 リサイクル厨房館

〒901-2122 浦添市勢理客 2-15-1
TEL：(098) 878-3182 FAX：(098) 874-2405

CDMON
保育園・幼稚園向けICTサービス

正規代理店

沖縄県私立保育園連盟推奨企業

あなたの「いいね!」を目指して



沖縄情報システム株式会社

全国・沖縄県
導入実績 No.1

保育資格者による
専任サポート

ネットワーク環境整備
機器類関連もお任せ下さい

ひかりのくに株式会社 沖縄営業所

TEL.098-889-4339 FAX.098-889-1808

✉ okinawa@hikarinokuni.co.jp

ひかりのくに

取扱：幼児の月刊絵本・教材・楽器・積木
園児服・什器・備品・園庭遊具 他

未来の子供たちへ

絵本が育てる子供の心

チャイルドブック

明日の園環境づくりを応援します

株式会社 チャイルド本社
沖縄営業所

〒901-0203 沖縄県豊見城市長堂 144-2
(TEL) 098-856-8630 / (FAX) 098-856-8635

RICOH

リコージャパン株式会社



第20回



私保連まつり

～ 心と手をつなぎひろげよう 平和の輪、笑顔の輪 ～

2025

11/1^土

13:00 ▶ 16:30
(開場12:30)

in 糸満市

シャボン玉石けん
くくる糸満 大ホール

- 記念講演: いらみなぜんこ氏
「いらみなぜんこの童謡の世界」
- 園児舞台: 大地保育園・まつの木保育園
- サイエンスマジックショー
: たまんちゅ!

2025

11/8^土

13:45 ▶ 17:00
(開場13:20)

in 宮古島市

宮古島市中央公民館
未来創造センター多目的ホール

- 記念講演: いらみなぜんこ氏
「いらみなぜんこの童謡の世界」
- 男塾ライブ: 宮古島市男性保育士ボランティア
- ライブ★WE AER★
: 私保連隊～みんな音もだち～

2025

11/15^土

13:00 ▶ 16:00
(開場12:30)

in うるま市

うるま市石川会館

- 記念式典
いらみなぜんこ氏
- 記念講演: 「いらみなぜんこの童謡の世界」
- 大道芸人: まるけ
- 現代版組踊: 「肝高の阿麻和利」

3会場
共通
記念講演

いらみなぜんこの
童謡の世界
～お話と歌でつづる童謡ものがたり～

アナウンサー歴57年。現在民放3局で7本の番組を担当。
33年前から全国の童謡の故郷を訪ね、その背景を取材。愛と平和の
メッセージ童謡の語り部として県内外、海外からも招へいされる。

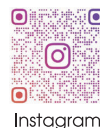
いらみなぜんこ氏



幕間劇 「11ぴきのねこ」キリスト教短期大学 児童文化研究サークル & スマイリースマイリー (宮古島市・うるま市)

主催: 一般社団法人 沖縄県私立保育園連盟

後援: 沖縄県、糸満市、宮古島市、うるま市、沖縄県社会福祉協議会、沖縄県共同募金会、沖縄県保育士保育教諭会、
沖縄キリスト教短期大学、沖縄女子短期大学、沖縄こども専門学校、沖縄タイムス社、琉球新報社、NHK 沖縄放送局、
沖縄テレビ放送、琉球放送、琉球朝日放送、ラジオ沖縄、エフエム沖縄



Instagram



Webサイト

この事業は赤い羽根共同募金の助成を受けています